

第2日

【小倉競輪場】 電投番号 [81#]

★ ミッドナイト競輪 ★

2022/12/12

■ ■ 1 R ■ ■ 出走表 (本命率60%)

<展望> 『予選不覚取った「吉成」名誉挽回』

予選の①(吉成)はこゝの⑤(松岡)に内から当たられたとは言え、アッサリ坂田康季の踏み出しに離れるとは、追い上げる元気も脚も無かったのを如何に評価すれば良いのか悩ましいが、このレースは地元⑥(永田)、そして超ベテラン③(濱田)と話をして(永田)の番手に成った以上は禪の紐を締め直して頑張る事か。(永田)も予選反省組の一人、これ迄やって来た先行主体の自力で狙いは押し切り。(濱田)が3番手固める九州ラインが人気。関東は予選でも前々に攻めてた④(三木翔)には再度②(古寺)で、気持は入ってる⑤(松岡)で結束して九州に挑む。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 吉成晃一 内から来られて付いて行けず済みません。話して永田さん。
× 2 古寺伸洋 翔太(三木)は頑張ってくれた。松岡と話して、再度に成った。
△ 3 濱田昭一郎 徳吉には中団取って欲しかった。こゝは九州で3番手。
4 三木翔太 もっと早く来て欲しかったですね、やる事はやったので。自力主体。
5 松岡慶彦 新人に飛び付くのに脚使い過ぎた。関東で並びます。
○ 6 永田修一 行けなかったが、修正すれば良く成りそう。自力です。

<展開予想>

←【6】13【4】25

<穴を探る> 関東トリオが狙い。2-4 2=5

2車単 1=6 1-3 1-2

3連単 1-6=3

■■ 2 R ■■ 出走表 (本命率 80%)

<展望>『高得点「三木健」がしっかり決める』

初日予選の①(三木健)は筋を通して地元秋永昂人の後を廻ったら秋永が岡崎克政に入られただけで、内村竜也が目前で落車したのを間一髪で避けて脚の方は一杯に成っての不本意な着、来期からの昇班を決めてる実力者であれば、このメンバーは負けられないのでは。前で頑張るのは逃げが似合う②(徳吉)、恵まれた事に先行は1車。還暦とは思えぬ程元気な③(佐々木)迄の九州トリオで独占ムード。直前の久留米から中2日の④(松木)は気持は切らしてないが、53歳の身にこの強行スケジュールが堪えない筈は無い。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 三木健治 落車を避けて脚に来たんですよ。話して、徳吉君の番手。
- 2 徳吉正治 組み立てに失敗したが脚は問題無い。先行基本。
- △ 3 佐々木浩三 前は頑張ってくれましたよ。九州で3番手固める。
- × 4 松木竜也 展開が厳しかったが、これが現状なのかも。決めず。
- 5 小野祐作 組橋に任せた結果なので。脚は変わらず。決めず。
- 6 北澤育夫 伸びは良かったですよ。黒川が自力なら任せる。
- 7 黒川将俊 若手の踏み合いに付いて行けなかった。こゝは自力。

<展開予想>

←【2】 1 3 4 5 【7】 6

<穴を探る> このレースに関しては穴は出そうにない。

2車単 1=2 1-3 1-4
3連単 1-2=3

■■ 3 R ■■ 出走表 (本命率 75%)

<展望>『121期新人「富」「坂田」力の両立』

大学を出て社会人を経験してるだけあって新人にしては落ち着いてるだけでなく、脚の方は現時点でS級に通用するのは①(富)、予選の5番手捲りを決めたハロンは11秒4、逃げとは決めず、展開に応じて柔軟に攻める術を会得して居り、同期②(坂田)には現時点で全てに上位。小倉に強いが定説に成ってる③(岡崎)、こゝで(富)と一緒に成るとは、これも小倉との相性なのかも。⑦(中村)迄が瀬戸内ライン。予選は派手なブツ千切りは見事だった(坂田)は(富)より先に仕掛けるか、目標にして捲りを放つかして狙うは連勝。地元⑤(秋永)がマーク。尚北コンビも一度は動く。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 富 武大 今日走った事で小倉バンクは好きに成りました(笑)。自力です。
- 2 坂田康季 流れの中では出しての捲りは考えてた。調子は問題無い。自力。
- △ 3 岡崎克政 小倉を走れば恵まれますね。ライン大事に富君は初めて。
- 4 椿 佳友 内が気に成って余裕が無かった。勝太(須永)に任せる。
- 5 秋永昂人 色々あったが、リカバリーは出来たので。坂田の番手。
- 6 須永勝太 作戦通りでした。新人相手ですが自力です。
- × 7 中村秀幸 捲りの3番手で付いて行けたし悪くない。中国の後。

<展開予想>

←【1】 3 7 【2】 5 【6】 4

<穴を探る> (坂田)のスピードが上廻る。 2-1

2車単 1-2 1-3 1-7
3連単 1-2=3

■ ■ 4 R ■ ■ 出走表 (本命率 80%)

<展望>『実力Sワン「梅崎」の連勝不動』

予選の①(梅崎)は秋永昂人と三木健治としっかり作戦会議してたのに、その通りのレースをやれず自分だけに成ってしまい、勝利者インタビューはまるで敗者の様に反省の弁しかなかったが、力あるのは間違いなく、練習時は井上昌己・荒井崇博の超一流と互角に渡り合っていると評判のパワーでとんでもない人気に応える。③(篠原)④(組橋)の四国コンビで後を固めるが、付け切れるかどうかには成れば大きな賭け。予選の突っ張り2周押し切りで8連勝迄した時の調子に戻った②(加藤)は、後を⑤(青木)⑥(相良)が固めてくれるなら捲りでなく先行で(梅崎)に挑む。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 梅崎隆介 作戦通り走れなかったのが悔しいが、脚は大丈夫。自力。
- 2 加藤将武 全突っ張り決めてたし、前回より数段良い。先行主体の自力。
- △3 篠原英雄 富は凄いかゝりで、付いて行くのに一杯でした。梅崎の番手。
- ×4 組橋一高 出切れなかったが、4着で準決ならば。英雄(篠原)の後。
- 5 青木亮太 全部、前の須永がやってくれました。加藤の番手。
- 6 相良勝美 意外に伸びてくれた。話して、加藤の3番手。
- 7 田中智也 内が空いたとは言え、2着なら調子は良い。先手ライン。

<展開予想>

←【1】34 7【2】56

<穴を探る>(梅崎)の首位は動かない。

2車単 1-2 1-3 1-4
3連単 1-2=3

■ ■ 5 R ■ ■ 出走表 (本命率 50%)

<展望>『予選の調子で「福太郎」を抜擢』

長崎は佐世保で選手に成った⑤(中里)、同期の渋谷海との縁で姉と結婚した事で、寒い函館に移籍、冬期移動は佐世保と思われたのに四日市とは、それが良かったのか、予選は渡口勝成の逃げをホームから捲りに行き、バックでは先んじる健斗、結果はコーナーを利用して行けなかったが、大好きな小倉で躍動して居り、⑦(島田)の前で自力勝負。①(伊藤一)迄が東ライン。(中里)程ではなかったが、予選の動きは悪くなかった②(高山)は、先輩(黒田)に任された事で何でもやって決める事に全力。予選の③(平川)は池部壮太に任せて悔いを残したので、九州一人でも初日の分迄パワー全開の気合。

<出場予定選手コメント>

- 1 伊藤一貴 中里君は頑張ってくれました。こゝも中里君のライン、北海道の後。
- ▲2 高山雄丞 考えてた展開に成らなかった。自力で先輩と決めます。
- ×3 平川慎太郎 池部の仕掛けに離れてる様では。修正して単騎自力。
- 4 黒田大介 余裕はあったのでやれそうです。後輩、雄丞(高山)。
- ◎5 中里福太郎 渡口に最後は脚負けしたが、バックは取れたので。自力。
- 6 上原直樹 平川の後もあるけど、ライン大事に愛媛の3番手。
- 7 島田茂希 出切れると思ったが、あれからが脚。仲間に成った福太郎は初。

<展開予想>

←【2】46【5】71【3】

<穴を探る>(高山)の自力が狙い。 2-4 2-3

2車単 5-7 5=2 5-3
3連単 5-7-1 5=2-34

■■ 6 R ■■ 出走表 (本命率 60%)

<展望> 『一人でやると決めた「房州」は頼もしい』

予選の①(房州)は、林昂に出られた井上公利をバック踏んで入れてやったばかりに準決進出を逸したけど後悔してないし、こゝは④(勝俣)が居ても、初日に全く力を出せてない事もあり、「自分でやります」なら、しっかり位置を取っての捲りを決める。(勝俣)もだからと言って(房州)とは決めず、単騎で自力を宣言したが、流れの中ではドッキングしてるものと想定。予選の②(池部)は平川慎太郎に任されたのに、前で待ってた小林申太の成り行き先行を叩けず捲れなかったのは不安でしかないが、先輩⑦(吉川)と一緒に予選の分迄逃げるのでは。ラインの長さで勝負するのは瀬戸内勢、⑥(野上)を先頭に③(小林健)⑤(赤松)でまとまりはしたが、問題は(野上)の調子に脚力。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 房州輝也 井上さんには世話に成ってますから。こゝは単騎で自力。
- △ 2 池部壮太 仕掛けたタイミングが最悪だったので、修正しての自力。
- × 3 小林 健 後輩、野上と一緒に考える事はないでしょう。
- 4 勝俣 亮 あれで行けないとは弱いとしか。房州と話をして別で自力。
- 5 赤松誠一 見ての通り調子は大丈夫。ライン大事に岡山の後。
- 6 野上竜太 小林申太さんに力負けです。後2人ですね、先行主体の自力。
- 7 吉川裕二 思ってた以上にやれたかな。後輩池部。

<展開予想>

←【2】7【1】 【4】 【6】35

<穴を探る> 大分コンビで独占。 2-7

2車単 1-4 1-2 4-2
3連単 1-4=2

■■ 7 R ■■ 出走表 (本命率 70%)

<展望> 『特選先勝「小原」又しても番手戦』

自在型として番組に認められた①(小原周)、それが初日特選でしっかり番手の仕事をして渋谷海を残した事実、それもあって②(渡口)に成ったもの、その(渡口)には今年4月の武雄決勝で逃げて貰い、1年半振りの優勝をプレゼントして貰っただけでなく、2着に残して以来2度目であれば。予選とは言え、2周逃げて押し切った(渡口)のパワーは本物、再び同期⑥(北川)と対戦する事に成ったが、逃げて力発揮。予選はてっきり中団捲りと思われた④(小林申)がやった事は鐘前からの力強い先行、③(小坂)だけでなく⑤(藤原)迄後を固めてくれるなら逃げ主体の自在戦かも。そこで⑦(石川英)は、空いてる(北川)に行く。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 小原周祐 調子は自力を出してないので。渡口には武雄で優勝取らせて貰った。
- 2 渡口勝成 バックを取られたのは反省。新車を修正して再度使います。自力。
- × 3 小坂敏之 やりたい事はやれたので。小倉はやっぱり良い。S級以来の申太。
- △ 4 小林申太 4前回から使ってるフレームが合ってる。後2人と決める自力。
- 5 藤原清隆 申太(小林)が強かった。世話に成ったので茨栃の後。
- 6 北川大成 仕掛け遅れて後に申し訳なかったが悪くない。又渡口さんが相手ですね。自力。
- 7 石川英昭 勝俣の頑張りが全てにしても伸びました。僕は北川君の番手。

<展開予想>

←【2】1【4】35【6】7

<穴を探る> 茨栃コンビで決まる。 4=3

2車単 1=2 1-4 1-3
3連単 1=2-34

■ ■ 8 R ■ ■ 出走表 (本命率 60%)

<展望> 『ライン3分を制するのは瀬戸内トリオ』

こゝで優勝してS級点をキープしたい①(渋谷)、それだけの準備をして来たのが初日特選で鶴良生を突っ張り通しただけでなく、小原周祐と僅差の勝負を演じたのが今回の調子、恵まれた事に②(戸伏)③(高田)の岡山コンビが後を固めてくれた事で、他のラインは2人に対して3人のアドバンテージをフルに活かす自力戦。予選とは言え、デビュー時のひ弱さは消え、立派な戦士に変貌してる林家の3男坊④(昂)、予選の力強い逃げをこゝで再現するか。後は再び⑦(吉良)に成ったが、付け切れるかどうかの調子。予選は(林)に完敗した⑥(井上)だけど、乗って来た人格者⑤(渡邊秀)に迷惑掛けない自力勝負。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 渋谷 海 鶴さんに踏み勝っての2着はS級点に大きい。気合の自力。
- 2 戸伏康夫 3番手の仕事は出来た。大輔と話して、番手は初の渋谷。
- ×3 高田大輔 渡口は行かれたと思ったが強いね。戸伏さんの後です。
- ▲4 林 昂 仕掛けた所も良かったし、出てからはペース。出来る事をやる。
- 5 渡邊秀明 深瀬は初めてだったが踏み直しが凄かった。井上とは連携ある。
- 6 井上公利 房州に悪い事してしまった。渡邊さんに任された事で自力。
- 7 吉良勝信 昂(林)が強かった、又一緒とは有り難い。頑張ります。

<展開予想>

←【4】7【1】23【6】5

<穴を探る> (林昂)の連勝。4-7 4-5

2車単 1=2 1=4 1-3
3連単 1=2-34

■ ■ 9 R ■ ■ 出走表 (本命率 65%)

<展望> 『久留米コンビ対南関トリオ』

初日特選の②(鶴)は渋谷海に突っ張られても簡単に引かず、番手の小原周祐を叩き込んでいたのが今回の調子でありやる気、再度、大先輩①(加倉)に任された以上はスタートを決め、後を信じて突っ張るか、下げても仕掛けは早い。(加倉)の特選は3着に入ったのは地元の意地だったのかも、後輩(鶴)とはこれ迄何度もあり、「殆んど抜いてないと思いますよ」と言って笑ったのは前検日、再度に成ったならワン・ツー決める事に全力を投じる。予選とは言え、逃げ切って本命人気に応えた④(深瀬)は、③(中曾)⑦(湯浅)の千葉に任された以上はの逃げ勝負。そこで⑤(橋本)は割り切って久留米の後へ。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 加倉正義 3着に届いてるから調子は大丈夫。今度こそ良生(鶴)と決めます。
- 2 鶴 良生 情無いレースをしました。加倉さんに迷惑掛けない自力。
- △3 中曾直彦 加倉さんの後で勉強させて貰った。初めての深瀬君。
- ×4 深瀬泰我 小倉は考えていた通り走り易かった。千葉と決める自力。
- 5 橋本紀彰 展開に恵まれた。南関は3人なら、喜んで久留米の後。
- 6 小泉俊也 外併走でも4着に入れたので。単騎でも自力です。
- 7 湯浅公弘 展開一本。同期同級生、中曾の後を固めます。

<展開予想>

←【2】15【4】37【6】

<穴を探る> (深瀬)のパワーが狙い。4=3

2車単 1=2 1-3 1-4
3連単 1=2-345